

本時の見どころ

本時は、明治政府が徳川幕府から受け継いだ、未解決の重要外交課題である樺太問題を中心に据え、樺太・千島交換条約の意義に気付かせる授業です。大国ロシアの脅威を感じながらも、自国民を守るためには国境の確定を急がなければならなかった明治政府の想いに気付き、領土画定の意義について学び、考える子どもたちの姿をご覧ください。

社会科（歴史的分野）学習指導案

日 時	平成29年11月17日（金）第2校時
場 所	熊本市立北部中学校
年 組	熊本市立北部中学校 2年6組 40名
指導者	熊本市立北部中学校 教諭 野口 哲

1 単元名 「明治維新」（東京書籍 p.160~p.173）

2 単元について

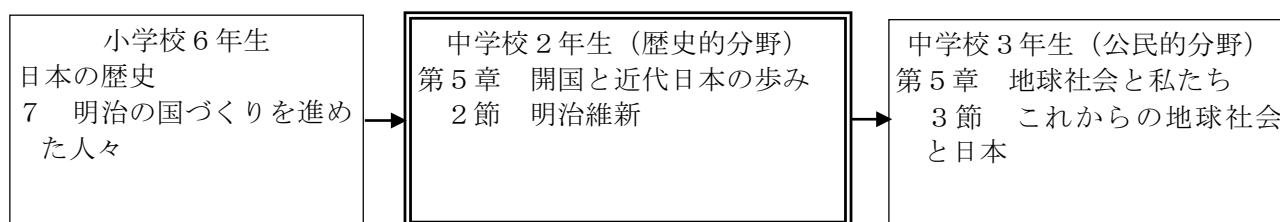
(1) 単元観

本単元は、明治維新を取り扱う。明治維新は、近代日本の基礎を形づくった改革と言える。その改革を推し進めるためのスローガンは「富国強兵」である。明治政府は、経済を発展させるために、殖産興業を推し進め、発展した経済力で軍隊を強くするという目標を立てていた。外圧によって、開国させられた日本が抱える緊急の課題こそが、欧米に負けない国づくりを進めることだった。欧米列強が勢力を広げる複雑な国際情勢の中で、独立を保つためには欧米に習った近代国家を目指す必要があると考え、短期間で諸改革に取り組んだ時代と言える。

欧米列強の植民地とならないために、明治政府は三大改革や殖産興業、憲法の制定、議会の開設そして、国境の画定を急進的に進めていく。日本の周辺には、欧米の帝国主義が迫っていた。幕末に結んだ日露和親条約のもとでは、樺太島が雑居の地であったために、日本とロシア人との間で窃盗や暴行事件、僅かながらの傷害事件も起きていた。更には、樺太島に多くの兵士の駐留を進めるロシアの脅威も拡大していった。明治政府は、当初、樺太島全島領有論を進めたが、樺太開拓使に任命された黒田清隆の進言により樺太放棄論が進められていく。遠方の無益の土地樺太を保持せんがため、近い北海道を危険にさらすのは拙策であるとしたのだ。これによって、黒田清隆の推薦もあり、当時の万国公法を理解していた榎本武揚が交渉にあたった。粘り強い交渉の末、遂には大国ロシアから千島列島と近海の漁業権まで認めさせるという快挙を得たのであった。変化の激しい明治時代の始まりを学ぶ単元であり、領土をめぐる争いを中心に据えることで、子どもたちが明治時代の大まかな流れを獲得し、変革を成し遂げた人々の思いに触れることができる単元である。

(2) 系統観

本単元における系統は以下の通りである。



(2) 生徒観 (男子19名, 女子21名)

学級の仲は良く、各種行事で女子を中心に積極的な取り組みを行うことができる。その一方で、授業中の話し合いになると積極的な発表は見られることは少ないが、社会科が「好きだ」という生徒は多い。地歴では歴史を好きな生徒が多い。小学校で明治時代を学習しているため、明治時代を印象良く捉えている生徒が多かった。事前にとったアンケートの結果は次の通りである。

- | | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|---------|---------------|
| ①社会科は好きですか？ | ・はい 32名 | ・いいえ 2名 | ・どちらともいえない 6名 |
| ②地歴ではどちらが好き？ | ・地理 10名 | ・歴史 27名 | ・どちらともいえない 3名 |
| ③日本が抱えている領土問題に関心がありますか？ | ・はい 31名 | ・いいえ 2名 | ・どちらともいえない 7名 |
| ④日本を取り巻く国際問題で関心があることを教えてください。 | ・北方領土 ・北朝鮮のミサイル ・竹島 ・尖閣諸島 ・テロ問題 | | |

以上の結果から、領土問題に関心が高いことがいえる。なかでも、日本を取り巻く国際問題で北方領土と書いた生徒が多かった。そのため、北方領土問題の歴史的な背景を認識させ、本単元の課題に近付けていきたい。

(3) 指導観

- ・単元を貫く課題を設定し、本時に迫るために毎時間生徒の立場で学習課題に自分なりの考えをまとめさせる。
- ・国境線がどのように変化したか、地図を使用し、視覚的に捉えさせる。
- ・領土問題が今に繋がっていることに関心を高めるとともに、領土に対する自分なりの考えを持たせるようにする。

3 単元の目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	明治維新による近代国家の形成と我が国の国際的地位の向上、近代文化の形成など、近代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追及して近代の特色をとらえさせる。
社会的な 思考・判断・表現	新政府の諸改革の特色について、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。
資料活用の技能	明治時代になり人々の生活が大きく変化したことや、列強の国に負けない国を目指すには何が必要なのか、資料から読み取らせ、まとめさせる。
社会的事象についての 知識・理解	明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解し、その知識を身につけることができる。

4 単元の指導計画と評価（規準）計画 （全8時間 本時 6/8）

次	時	主な学習活動	評価
1	1	「新政府の成立」 ○版籍奉還や廃藩置県の内容と目的について理解する。 ○身分制度の廃止の影響について考える。	○新政府の方針や廃藩置県，四民平等，解放令について理解している。 【知識・理解】
単元を貫く課題： 明治政府は、植民地にならないために、どのようなことを達成しなければならないのだろうか。			
2	1	「明治維新の三大改革」 ○富国強兵政策の具体的な内容を理解する。 ○改革により，人々の生活がどのように変化したか資料から読み取る。	○富国強兵政策の内容を理解し，その影響について考えることができる。 【思考・判断・表現】
3	1	「富国強兵と文明開化」 ○欧米文化の流入により人々の生活がどのように変化したのか，資料から考える。	○資料から，明治になって新しくなったものを，読み取ることができる。 【技能】
4	1	「近代的な国際関係」 ○岩倉使節団が海外で見てきた内容を整理しその後の国づくりに与えた影響について関心を持つことができる。 ○領土の確定に関して，政府がアジア諸国に行った外交政策を理解する。	○岩倉使節団が海外で何を見たか知り，日本が近代化を果たすためには何が必要なのかを考察し，表現できる。 【思考・判断・表現】 ○政府がアジア諸国に対して行った外交政策を理解し，その知識を身につけている。 【知識・理解】
5	1	「国境と領土の確定」 ○北海道の開拓における士族の役割について知る。 ○沖縄県成立の過程での中国の関係について考える。	○北海道や沖縄に対して新政府が行った政策を理解し，その知識を身につけている。 【知識・理解】
	1 本時	「国境と領土の確定」 ○樺太・千島交換条約を通して，国境画定の意義について考える。	○資料をもとに，国境画定の意義について考えをもつことができる。 【思考・判断・表現】
6	1	「自由民権運動の高まり」 ○自由民権運動が始まった経緯や，改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。	○自由民権運動のおこりや全国的な広まりの過程を理解し，その知識を身につけている。 【知識・理解】
7	1	「立憲制国家の成立」 ○憲法に基づいて議会政治が始まり，立憲制国家が成立したことを捉える。	○大日本帝国憲法の特徴や近代国家の基礎が整えられたことを理解し，その知識を身に付けている。 【知識・理解】

5 本時の学習

(1) 本時の目標・内容・方法

目 標	国境を確定することの意義に気付くことができる。
内 容	樺太・千島交換条約を取り上げる。
方 法	欧米諸国がアジアに進出する国際情勢のもとで、近代日本の形成過程について、領土画定へ向けた日露和親条約から樺太・千島交換条約締結への動きの中で捉える。

(2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	学習形態	○教師の指導 ・予想される生徒の反応	教材 資料等
導 入	5 分	1 本時の課題を確認する。	一斉	○前時までの学習を振り返り、北方の国境が未画定であることに気付かせる。 学習課題：なぜ国境を確定する必要があるのだろうか。	地図 ワークシート
				○学習課題を確認させる。	
展 開	1 5 分	2 日露和親条約後の樺太について考える。	一斉	○雑居地となった樺太で、どのような問題が起こるのか考えさせる。 ・喧嘩が起こる ・土地の奪い合い ○実際に起きた問題を紹介する。	ワークシート
		3 問題の解決策を考える。	個人	・ルールをつくる。 ・警備を強化する。 ・国境線をはっきりさせる。 ○トラブルの解決には国境画定が必要なことに気付かせる。	地図
		4 樺太・千島交換条約について知る。	一斉	○条約によって国境線がどのように変化したか、視覚的に捉えさせる。	ワークシート
		中心発問：島の面積が違うにもかかわらず、なぜ明治政府は樺太・千島交換条約を結んだのだろうか。			
	2 0 分	5 個人で考える。	個人	○資料の読み取りから自分なりの考えをまとめさせる。 ・大国ロシアとの戦争を避けるため。 ・日本が漁業権を確保するため。 ・日本が植民地にならないため。 ○個人の時間を確保し、意見をしっかりと書かせる。	評価
		6 班でまとめる。	班 一斉	○個人の意見を交流させたあとに、班で意見をまとめさせる。 ○国境が引かれたはずなのに日本人が自由に行き来できない場所がないか連想させる。	地図

まとめ	10分	7 本時の学習課題について考える。	個人	<p>○国境を画定することによってもたらされる国民の利益について気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の利益を守るため ・安心して生活するため ・領土を守るため <p>○今も残る北方領土問題について、根室の現地研修に行った生徒及び教師の想いを伝える。</p>	ワークシート
-----	-----	-------------------	----	--	--------

(3) 本時の評価

場面	評価規準
評価	<p>A：国境画定の意義について、資料をもとに時代背景を踏まえて、自分の考えをもつことができる。</p> <p>B：国境画定の意義について、資料をもとに、自分の考えをもつことができる。</p>